

■ 一般目標 (GIO)

2年次で学んだことを活かし、要介護を含めた高齢者の歯科医療について理解する。また、口腔のみにこだわらず、口腔を通じて生活全般を視野に入れ精神的、身体機能的援助方法を学修する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ・嚥下のメカニズムと嚥下障害について説明できる。
- ・摂食嚥下リハビリテーションの訓練的対応について説明できる。
- ・介護予防における歯科衛生士の役割を説明できる。
- ・介護予防における口腔機能向上について説明できる。
- ・栄養サポートチームについて説明できる。
- ・チーム医療の概念について説明できる。

■ 教科書：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版(医歯薬出版)

■ 参考書：歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版(医歯薬出版) 歯科衛生士講座 高齢者歯科学 第3版(医歯薬出版)

■ 授業時間：水曜日 9：00～11：50

■ オフィスアワー：鈴木 雅子 (suzuishi.masako@nihon-u.ac.jp)
月曜日～金曜日 9：00～17：00

■ 授業の方法：教科書と授業で配布するプリントを中心に、プロジェクトを利用した講義形式を進める。実習では、グループワークや相互実習を行うため準備学習も含め積極的に取り組むこと。

■ 準備学習・ 事前に教科書を読み講義内容を予習しておくこと。

準備学習時間：復習は教科書、プリントを合わせ、理解を深めること。

実習に関しては、実習内容のプリントを読み理解を深めておくこと。

掲示を確認し、実習準備を行うこと。

準備学習に記載された事項に必要なだけの時間を充てて予習復習をすること。

■ 成績評価方法：定期試験(80%)、実習課題レポート、5回(20%)を総合して評価を行う。

■ 注意事項：グループ学習は積極的に参加すること。

実習の時は身だしなみを整え、忘れ物をしないこと。

■ 実務経験：鈴木 雅子：歯科病院、歯科医院、高齢者施設での勤務経験を持つ。その経験を基に、歯科衛生士の立場から高齢者を身体的、精神的に援助するために必要な理論・技術を学べる講義、実習にしたいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1・2・3回 4月12日 鈴石 雅子	嚥下のメカニズムと嚥下障害 高齢者の栄養状態 NSTについて	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嚥下のメカニズムと嚥下障害について説明できる。 ・ 高齢者の栄養評価と低栄養について説明できる。 ・ 栄養サポートチームについて説明できる。
第4・5・6回 4月19日 鈴石 雅子	介護保険制度の仕組み 介護予防 歯科衛生士による介護予防の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護予防と介護保険制度の仕組みについて説明できる。 ・ 介護予防における口腔機能向上プログラムと介護保険制度を説明できる。 ・ 口腔機能の向上の展開方法を説明できる。
第7・8・9回 4月26日 鈴石 雅子	チームアプローチⅠ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何か理解する。 ・ プレゼンテーションの資料を作成する。
第10・11・12回 5月10日 鈴石 雅子	チームアプローチⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何か理解する。 ・ プレゼンテーションの資料を作成する。
第13・14・15回 5月17日 鈴石 雅子	チームアプローチⅢ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何か理解する。 ・ プレゼンテーションの資料を作成する。
第16・17・18回 5月24日 鈴石 雅子	チームアプローチⅣ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療職や介護職など複数からなるチームアプローチとは何か理解し、発表する。
第19・20・21回 6月21日 鈴石 雅子	歯科衛生士の訪問による口腔健康管理の実際	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科衛生士の訪問による口腔健康管理と要介護者のQOLの向上の関連を説明できる。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
	口腔健康管理実習 (半数)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者に対する口腔健康管理に必要な技術を熟練する。 ・ 半数による相互実習の為、半数の学生は歯科衛生士の口腔健康管理を考察する。
第 22・23・24 回 6月 28 日 鈴石 雅子	介護者の口腔健康管理のポイント 口腔健康管理実習 (半数)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護者の口腔健康管理のポイントと介護者に対しての指導方法を説明できる。 ・ 要介護高齢者に対する口腔健康管理に必要な技術を熟練する。 ・ 半数による相互実習の為、半数の学生は歯科衛生士の口腔健康管理を考察する。
第 25・26・27 回 7月 5 日 鈴石 雅子	口腔健康管理の実際と接し方 歯科衛生過程 症例検討	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護高齢者の摂食・嚥下障害と口腔健康管理について説明できる。 ・ 特別養護老人ホームにおける事例を歯科衛生過程のステップとともに検討する。 ・ 様々な場面での歯科衛生士としての役割をグループにて検討する。
第 28・29・30 回 7月 12 日 鈴石 雅子	老年期における歯科衛生士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の一般的特徴と口腔の特徴を説明できる。 ・ 老年期の歯科保健行動を説明できる。 ・ 老年期の口腔衛生指導，食生活指導の留意点を説明できる。